

## テコマ マヤンゴールド

学名: *T. stans*

種子粒数の目安: 37 粒(コート種子)/グラム

### プラグ生産ステージ

#### 培地

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。土壌 pH は 5.8 から 6.2 の範囲、また EC 値は 0.75mmhos/cm(2:1)以下が適正

#### 播種

200 あるいは 288 穴前後、あるいはこれらよりも少し大きめのプラグトレイを用いると管理しやすい。培地の水分維持のためにパーミキュライト等で覆土する

ステージ 1 - 発芽には 3 から 5 日要する

地温: 発芽時の地温は 20-23°C

光条件: 発芽には光が必要

湿度: 幼根が現れる頃までは相対湿度 95%以上を維持する

#### ステージ 2

地温: 21-24°C

光条件: ステージ 2, 3 では 26,900 ルクス(2,500 f.c.)まで可能

水分: 培地の水分は、根が培地中に行き渡るように中くらい(level 3)からやや湿潤(level 4)で維持する

肥料: レート 1(100ppm(N)以下、EC 値が 0.7ms/cm 以下)で、リン酸分の低い硝酸態の肥料を与える。培地は、EC 値 0.7ms/cm(2:1)以下で維持する

#### ステージ 3

地温: 20-22°C

光条件: ステージ 2, 3 では 26,900 ルクス(2,500 f.c.)まで可能

水分: 表面が薄茶色に乾いてから(level 2)水を与える。このように、ウェットとドライの交互のサイクル(level 2 から 4)を続ける

肥料: レート 2(100-175ppm(N)、EC 値が 0.7-1.2ms/cm)の肥料を与える。もし生長が遅い場合は、必要に応じてアンモニア態と硝酸態を交代でバランスを見ながら供与し、栄養生長を促す。培地の pH は 5.8 から 6.2、また EC 値は 1.0-1.5ms/cm (2:1)を維持する

矮化剤: この段階では不要

#### ステージ 4

地温: 18-20°C

光条件: 温度条件が維持されるなら、53,800 ルクス(5,000 f.c.)まで光条件を上げてよい

水分: ステージ 3 と同じ

肥料: ステージ 3 と同じ

### 鉢上げから出荷まで

#### コンテナサイズ

10.5cm 以下のポット: 1 本植えが標準

15cm ポット: 3 本定植が標準

#### 培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。土壌 pH は 5.5 から 6.2 が適正、培地の初期の養分量は中庸(EC 値 0.75ms/cm 以下)

#### 温度(生育適温)

昼間: 20-24°C

夜間: 18-20°C

#### 光条件

できるだけ光(日照)にあてて明るい条件で管理する。光が足りなかったり、短日の条件では花房のできが遅かったり、花芽が発育不全になることがある

#### 日長時間と開花の関係

揃って開花するには 14 時間以上の日長条件が必要とされる。テコマは日長によく反応する植物で、光の強さも相互的に影響する。強い光条件のもとでは、上記の日長よりも短い条件でも開花することがある

#### かん水

極端な過湿や乾燥は避ける

#### 肥料

移植の後 1 週たってから、リン酸分が低くカリウムの高い硝酸態の肥料をレート 3(175-225ppm(N)、EC 値が 1.2-1.5mmhos/cm)で与える。pH は 6.0-6.5 を、また EC 値は 1.5-2.0mmhos/cm の範囲を維持する

### 矮化剤(PGR)

B ナインとサイコセルのタンクミックスによく反応する。B ナイン 2,500ppm とサイコセル 1,000ppm の割合で与える。鉢上げ後、2、3 週たってから 2 週に 1 度くらいのペースで散布する

### 北ヨーロッパ等での矮化剤の割合

北ヨーロッパなどのように温度の低い条件では、B ナイン 3,200ppm とサイコセル 500ppm のように割合を変更する

### ピンチ

マヤンゴールドは、花芽が着き始めるまで分枝しない植物です。ピンチすると分枝が促されますが開花は遅れるでしょう。株は強く一本立ちのまま育つため、必要であれば枝が 2 本に分かれるようなハードピンチがよい結果を得られるでしょう。ピンチの下で 2 本ないし数本の節を残すようにします。ピンチは早い時期に行った方が開花の遅れが少なくて済みます

### スパーシング

株どうし葉が触れ合うようになったらスペースを取るようにする

### コンテナサイズ

11-12cm(10.5cm 以下を含む): 1 本植えが標準

15cm ポット: 3 本定植が標準

18cm ポット: 3 本定植が標準

### 平均的な生産期間

播種から移植まで: 5-6 週(288 穴トレイ)

移植から出荷(開花)まで: 作型によって 7 から 10 週

### 播種から出荷(開花)まで:

コンテナサイズ	定植本数	春生産	夏生産
11-12cm ポット (それ以下を含む)	1 本	14-15 週	12-14 週
15cm ポット	3 本	14-15 週	12-14 週
18cm ポット	3 本	14-15 週	12-14 週

### 病虫害について

害虫: とくに夏生産の場合、アブラムシやハダニなどに注意する

病気: 典型的な障害の報告例はない

### 花壇定植や造園のついで

- マヤンゴールドは、一度根が活着すると高温や乾燥に強く耐えます
- 株は降霜の時期を過ぎてから日当たりのよい場所に定植しましょう
- USDA の温度区分によるゾーン 7a(最低温度-18℃)よりも寒い気候条件では冬を越さず一年生となるでしょう。一方で、ゾーン 8b(-9℃)よりも温度が高く、あるいは 7b と 8a の間(-15 から-12℃)であれば、しっかり根づいて宿根します
- 株間を 30-45cm とって、水はけのよい土に植えます

### 注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤を用いる場合は、必ずガイドラインによる使用方法を遵守しましょう。当該の規定や条例のもとで、注意書きをよく読み正しく使用することが、使用者の責務です

**注意点:** EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合もあります。

630 231-1400  
panamseed.com

© 2008 Ball Horticultural Company PAS08022-Eng

™ および®は、アメリカ合衆国およびその他の国における Ball Horticultural Company の登録商標です

この栽培資料は、2008 年に Ball Horticultural Company によって作成された英語による原版を許可の下で日本語に翻訳しており、一部に省略等があります

PanAmericanSeed.